



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,416	△2.8	750	△37.6	771	△38.0	356	△66.1
28年3月期第3四半期	14,825	1.3	1,202	△0.2	1,244	△1.6	1,053	△8.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	19.07	—
28年3月期第3四半期	54.95	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
29年3月期第3四半期	22,445	87.4	19,613	87.4	—	—	1,219.25	
28年3月期	24,222	87.4	21,173	87.4	—	—	1,104.79	

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 19,613百万円 28年3月期 21,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	△3.4	600	△50.3	620	△50.8	250	△75.1	13.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	16,086,250 株	28年3月期	21,034,950 株
29年3月期3Q	12 株	28年3月期	1,869,514 株
29年3月期3Q	18,705,937 株	28年3月期3Q	19,165,516 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期損益計算書関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとした新興国の景気減速や不安定な欧州情勢に加え、米国金融市場の不確実性に対する懸念の高まりなど、先行き不透明な状況で推移しました。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、アジア圏における人件費の上昇や原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は「豊かさの追求」を企業理念とし、「女性を元気にする日本一のグループ」に向けて、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現を目指してまいります。その為に、中期経営計画に基づき、「販売組織の活性化」、「ビジネスメンバーと顧客との接点強化」、「商品開発の強化」、「収益性の改善」、「新規事業の開拓・展開」に積極的に取り組んでおります。

商品面におきましては、衣料品類では、定番商品として、前年度より本格展開した30代から40代層をターゲットにしたブランド「シャルレ セルフィア」より、主力商品である「美意識ブラジャー」に新色を追加発売し、加えてコーディネートができるショーツを発売しました。しかしながら、同ブランドは発売2年目となることから、売上高は前年を大きく下回る結果となりました。数量限定商品として、アウトブランドである「シャルレ ドレッセ」より、シーズンに合わせたカットソーやパンツ等を発売しましたが、秋冬向け商品のアイテム数が前期より少なく、また売上が低調に推移したため、当該ブランドの売上高は前年を下回りました。また、生活支援に関連した商材として、夏には接触冷感素材を使用した「冷感敷きパッド」や「冷感ピローパッド」、冬には遠赤外線を身体に輻射する素材を使用した「あったか敷きパッド」、また歩行理論に基づき設計された「シャルレウエルネス タウンシューズ」等を発売し、順調な販売推移となりました。これらの結果、衣料品類全体の売上高は113億28百万円（前年同四半期比1.6%減）と前年を下回りました。

化粧品類では、高機能エイジングケアラインである「エタリテ オーラマージュ」より、オリジナル成分を配合した「ホワイトエッセンス（美容液）」を発売し、スキンケアラインの「エタリテ」より、特別限定セットを発売しました。しかしながら、既存定番商品の売上高が減少したため、化粧品類全体の売上高は20億14百万円（前年同四半期比11.1%減）と前年を下回りました。

健康食品類では、生の茶葉とびわの葉を混合発酵させた発酵茶「びわの葉入りまるごと発酵茶」、並びに卵黄由来の新規育毛活性成分を配合した女性向けサプリメント「ビハツネス」を新たに発売しました。「びわの葉入りまるごと発酵茶」は、長崎県の研究機関及び、長崎県立大学、長崎大学、九州大学の研究プロジェクトとで開発された製茶法（混合発酵）とお茶の持つ健康成分に着目した当社との産官学の共同開発商品であり、高い商品評価を得て売上が好調に推移したことにより、健康食品全体の売上高は6億66百万円（前年同四半期比5.9%増）と前年を上回りました。

営業施策面におきましては、5月に全代理店を対象とした「第33回シャルレ代理店セミナー」を開催し、中期の経営方針や各種施策等の共有を図りました。また、ビジネスメンバーを対象とした施策として、単年度のインセンティブ施策を4月より実施するとともに、「チャレンジコンテスト2016」を9月～11月に実施し、販売活動の意欲向上に繋げてまいりました。「チャレンジコンテスト2016」については、その報奨企画である特別セミナーに参加権利を有するコンテスト入賞者人数は前年を上回ったものの全体の売上を押し上げるには至らず、同期間中（9月～11月）の売上高は前年を若干下回りました。

さらに、通信販売サービスである「シャルレダイレクトサービス」におきましては、訪問販売と融合したビジネス活動を推進するために、新規会員の獲得・既存会員のリピート率の向上を目的とした啓発活動やキャンペーン等を実施し、会員人数や受注件数は順調に増加しました。また、「定期お届け便」制度の利用促進に取り組み、利用者数の拡大に繋げてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における当社の売上高は、衣料品類及び化粧品類が前年を下回ったこと等により144億16百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。利益面につきましては、数量限定商品の販売不振により在庫ロスが増加したこと及び、化粧品類の売上減少により粗利率が悪化したこと等により、営業利益は7億50百万円（前年同四半期比37.6%減）、経常利益は7億71百万円（前年同四半期比38.0%減）、四半期純利益は3億56百万円（前年同四半期比66.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の増加33億56百万円、有価証券の減少44億98百万円、商品の減少5億97百万円等により、前事業年度末に比べ17億77百万円減少して224億45百万円となりました。

負債は、買掛金の減少1億円、未払金の減少1億59百万円、未払法人税等の増加2億57百万円、賞与引当金の減少1億84百万円等により、前事業年度末に比べ2億16百万円減少して28億31百万円となりました。

純資産は、利益配当金4億79百万円、四半期純利益3億56百万円、自己株式の取得14億25百万円等により、前事業年度末に比べ15億60百万円減少し、196億13百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,250	12,606
売掛金	71	114
有価証券	4,498	-
商品	4,160	3,562
貯蔵品	53	49
繰延税金資産	360	234
その他	213	128
貸倒引当金	△17	△24
流動資産合計	18,591	16,670
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,209	1,196
土地	907	907
その他(純額)	279	454
有形固定資産合計	2,396	2,558
無形固定資産		
ソフトウェア	858	855
その他	17	16
無形固定資産合計	875	872
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051	1,031
前払年金費用	728	784
繰延税金資産	166	162
その他	419	370
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,359	2,343
固定資産合計	5,630	5,774
資産合計	24,222	22,445

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	811	711
未払金	857	697
未払法人税等	64	321
賞与引当金	292	107
その他	364	367
流動負債合計	2,389	2,204
固定負債		
売上割戻引当金	205	198
退職給付引当金	347	328
その他	105	99
固定負債合計	659	627
負債合計	3,048	2,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	13,985	11,141
自己株式	△1,295	△0
株主資本合計	21,188	19,639
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	△26
評価・換算差額等合計	△14	△26
純資産合計	21,173	19,613
負債純資産合計	24,222	22,445

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	14,825	14,416
売上原価	7,384	7,427
売上総利益	7,440	6,988
販売費及び一般管理費	6,238	6,238
営業利益	1,202	750
営業外収益		
受取利息	7	0
有価証券利息	11	11
受取配当金	0	-
雑収入	29	10
営業外収益合計	49	23
営業外費用		
支払利息	1	0
雑損失	5	1
営業外費用合計	7	2
経常利益	1,244	771
特別利益		
関係会社清算益	-	27
受取損害賠償金	156	-
特別利益合計	156	27
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	1,400	798
法人税、住民税及び事業税	347	311
法人税等調整額	-	130
法人税等合計	347	441
四半期純利益	1,053	356

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、平成28年8月31日開催の取締役会及び平成28年11月29日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式3,079,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が1,425百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、平成28年11月29日開催の取締役会において、自己株式の消却を決議し、平成28年12月12日付で自己株式4,948,700株を消却いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,721百万円減少しております。

(四半期損益計算書関係)

特別利益に計上しております関係会社清算益27百万円は、当社の子会社であった香羅奈(上海)国際貿易有限公司の清算において、残余財産の処分の際に発生した清算益であります。